



はばたけ 寒川っ子

寒川小学校学校便り

No.9

令和3年7月19日

1学期を振り返る

今年もコロナ禍のスタートとなりました。しかし、臨時休業、分散登校といった特別な対応はなく、毎日授業を実施することができました。中止や制限もありましたが、入学式、参観日なども行うことができました。ただ、運動会だけは10月に延期となり、子どもたちや保護者の皆様には、残念な思いをさせてしまいました。どうか10月を楽しみにしていただきたいと思います。

学習において、今年大きく変化したことがありました。それは、クロームブックの登場です。予てより導入されることは決まっていたのですが、これほど急激に進むとは正直思っていませんでした。しかし、コロナ禍におけるオンライン学習の必要性がそのスピードを加速しました。未知数でしたが、子どもたちも抵抗なく受け入れ、授業における活用も進み、当たり前の学習道具として定着してきています。新たな学びのツールとして、今後さらに活用を進めて参ります。

P.T.A活動については、総会や各専門部会を例年通りには開催できず、参加する機会が少なくなったかもしれませんが、コロナ禍でも可能な資源回収の方法を考え実行したり、予定を見直し参加を模索したりして、活動の灯を消さずにやれたと考えています。2学期の活動についても不透明な部分が大いですが、知恵と工夫でやれることをみんなでしていきましょう。ご協力よろしくお願いいたします。

さて、いよいよ夏休みとなります。昨年度は短い夏休みでしたが、今年はフルサイズです。40日間をどう過ごすかで、2学期以降の学校生活も大きく変わると思います。まずは、規則正しく生活する。その中で、学習も頑張る。お手伝いもする。コロナ感染予防もしっかりとする。何をしたかわからないといったふんわりとした時間の過ごし方でなく、目的をもち、自覚をもち、頭も体もしゃきとして、毎日をいきいきと過ごしてほしいと思います。「夏休み頑張ったよ。」と胸を張る子どもたちと再会できることを楽しみにしております。どうかよろしくお願いいたします。

